



エキノコックス症とは、主にキツネやイヌがノネズミを食べることで広がる寄生虫症です。成虫を宿すキツネやイヌの糞に含まれる虫卵が食物や水などを介して人の口にはいると感染し、肝臓で幼虫が徐々に増殖し、10数年後に重い病気になります。

Q.エキノコックス感染を予防するために注意することは？

A. 外から帰ったら
手洗いしましょう



A. イヌの放し飼いは
やめましょう



A. 野山の山菜などはよく洗うか、
十分加熱して食べましょう



A. キツネと距離をおきましょう



北大キャンパスのキツネ情報を求む!

エキノコックスから生活を守るために、一緒に対策を考えてみませんか？

- * 獣医学研究院の野生動物学教室では、キツネに駆虫剤入り餌を与えることにより、人のエキノコックス感染を予防する研究を行っています。
- * エキノコックス症の血清検査は札幌市内の各区の保健センターで無料で実施していますので、卒業年次にでも受診されることをお勧めします。

北大(札幌)キャンパスのキツネ情報は、獣医学研究院野生動物学教室(TEL011-706-5101)までお願いします。